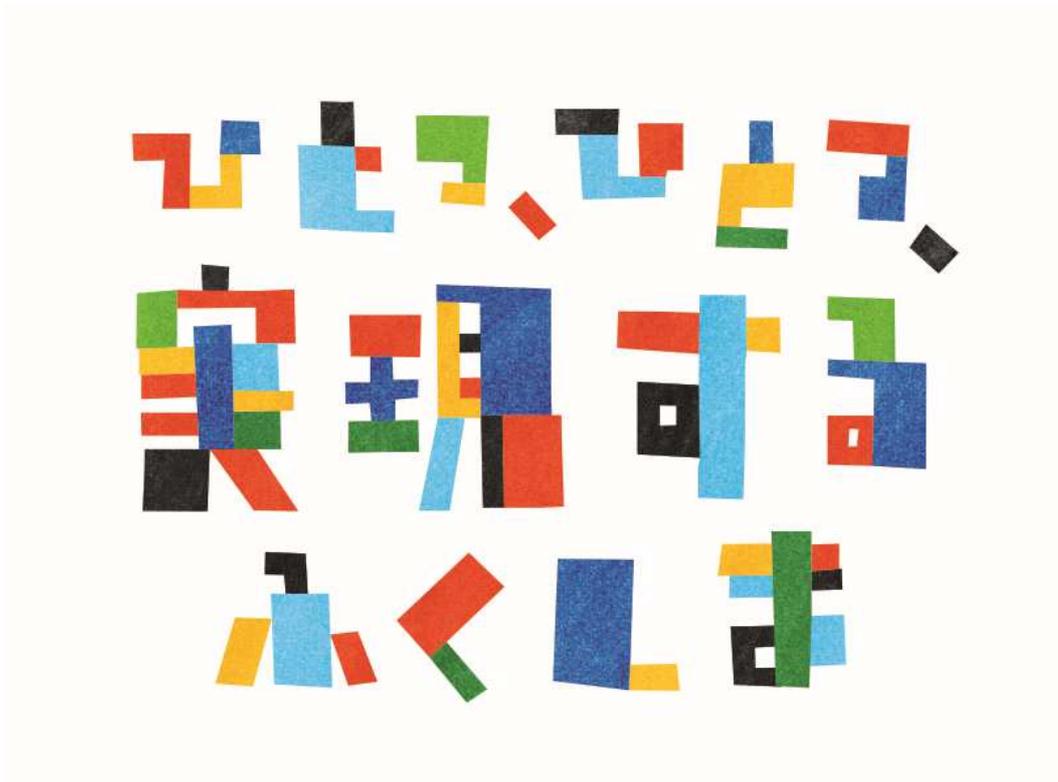


「データで見る福島県」

（令和7年3月版）



ふくしまけんきかくちょうせいぶとうけいか
福島県企画調整部統計課

もくじ

第1章 わたしたちの福島県・・・1ページ

- 1 福島県の位置・・・・・・・・・・1ページ
- 2 福島県の市町村・・・・・・・・・・2ページ
- 3 土地の様子・・・・・・・・・・3ページ
- 4 気候の様子・・・・・・・・・・4ページ
- 5 人口の様子・・・・・・・・・・6ページ
- <コラム>国勢調査って何？・・8ページ

第2章 福島県の産業・・・・・・・・9ページ

- 1 産業の様子・・・・・・・・・・9ページ
- 2 農業・林業・水産業・・・・・・・・10ページ
- 3 工業（せいぞうぎょう製造業）・・・・・・・・15ページ
- 4 商業・・・・・・・・・・17ページ
- 5 観光・・・・・・・・・・18ページ
- <コラム>グラフの見方に気をつけよう！・・20ページ

第3章 福島県の暮らし・・・・・・・・21ページ

- 1 福島県の1日・・・・・・・・・・21ページ
- 2 住みよいくらしをささえる・・・・・・・・22ページ
- 3 安全なくらしを守る・・・・・・・・23ページ
- 4 外国との交流・・・・・・・・・・26ページ



ふくしま応援！「ベコ太郎」

※資料を読むときの注意点

グラフに書かれている合計値と内訳の計や百分率の内訳の計が100%とならない場合がありますが、単位未満の数値を四捨五入しているためです。

第1章 わたしたちの福島県

1 福島県の位置

福島県は、東北地方の一番南にあります。47都道府県の中では、北海道、岩手県については、北海道、岩手県について3番目の広さです。

●面積順位（令和6年10月1日現在）

			総面積に対する割合
1位	北海道	83,422.27 km ²	22.1%
2位	岩手県	15,275.05 km ²	4.0%
3位	福島県	13,784.39 km ²	3.6%
全国	総面積	377,975.64 km ²	

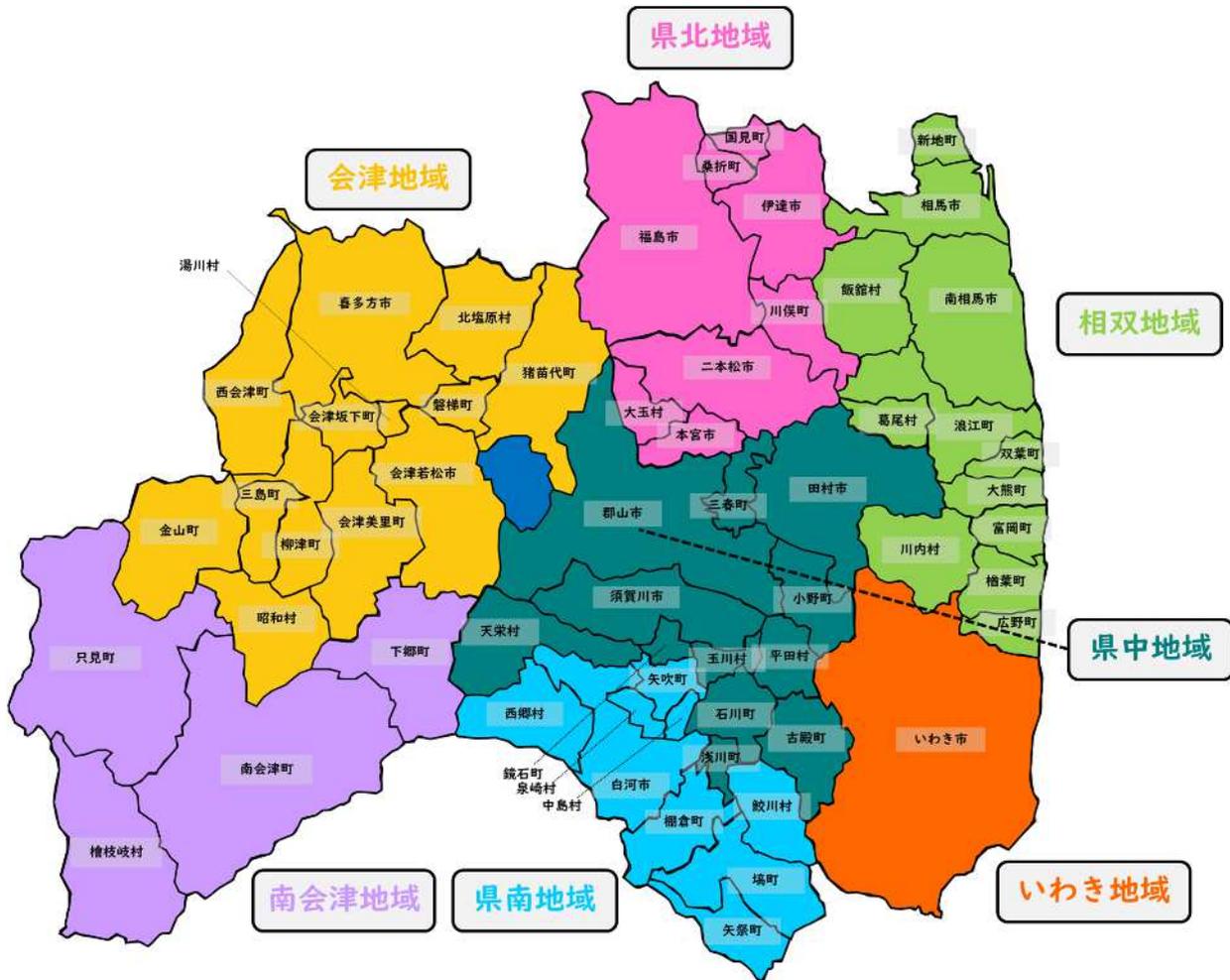
資料出所：国土交通省 国土地理院
「全国都道府県市区町村別面積調」



福島県の位置

2 福島県の市町村

福島県には、令和7年3月1日現在、13の市、31の町、15の村のあわせて59市町村があります。

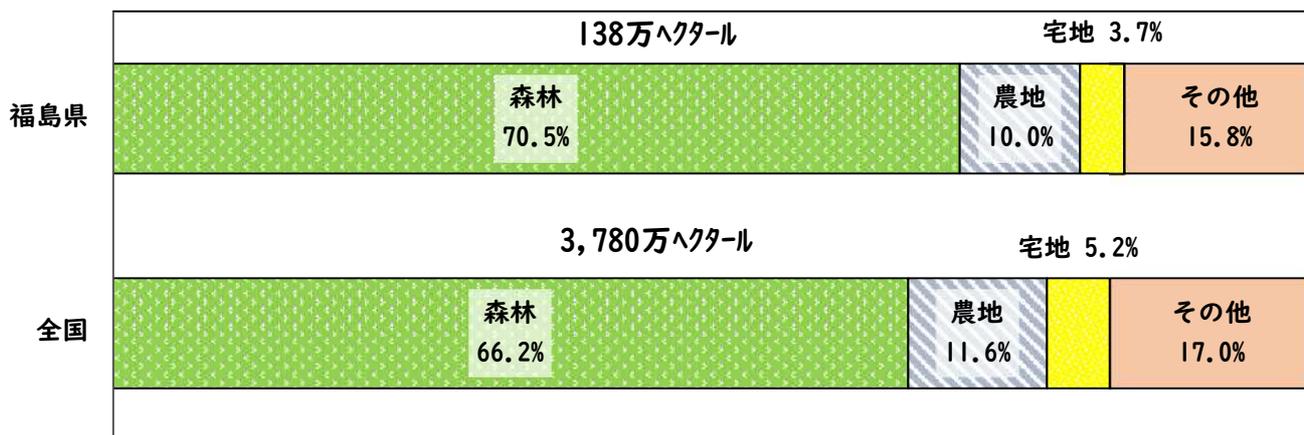


けんちょう
福島市にある県庁

3 土地の様子

福島県の土地の様子をみると、森林の面積の割合は全国と比べると少し大きく、自然に恵まれていることがわかります。

●土地利用のようす（2020年）



資料出所：国土交通省「土地利用現況把握調査」、県復興・総合計画課「土地利用現況把握調査」

●福島県の高い山(高さ)

順位	山名	高さ
1位	燧ヶ岳	2,356 m
2位	駒ヶ岳	2,133 m
3位	飯豊山	2,105 m
4位	帝釈山	2,060 m
5位	西吾妻山	2,035 m
全国1位	富士山	3,776 m

資料出所：国土交通省国土地理院「日本の山岳標高一覧-1003山-」

●福島県の長い川(長さ)

順位	河川名	長さ
1位	阿武隈川	181 km
2位	只見川	145 km
2位	阿賀野川	145 km
4位	伊南川	80 km
5位	夏井川	67 km
全国1位	信濃川	367 km

資料出所：県統計課「県勢要覧」
国土交通省「河川データブック2024」

●福島県の広い湖(面積と周りの長さ)

順位	湖沼名	面積	周りの長さ
1位	猪苗代湖	103.24 k m ²	50.40 km
2位	桧原湖	10.86 k m ²	38.00 km
3位	松川浦	6.17 k m ²	22.60 km
4位	秋元湖	3.52 k m ²	19.90 km
5位	沼沢湖	2.99 k m ²	7.50 km
全国1位	琵琶湖	669.20 k m ²	241.20 km

資料出所：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(令和6年10月1日現在)」、環境省「湖沼調査報告書」

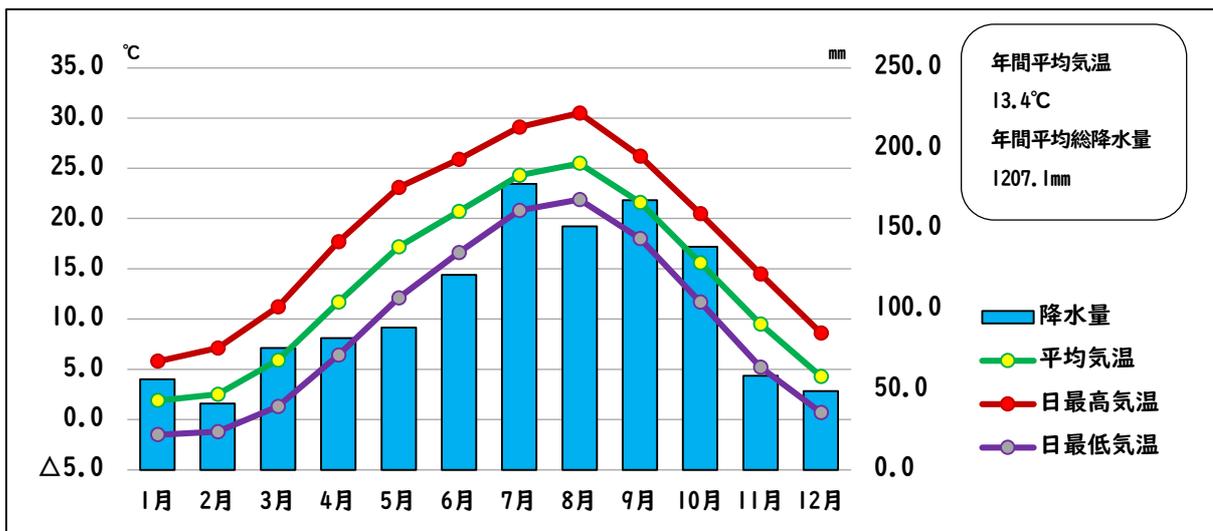
4 気候の様子

同じ福島県でも、中通り・会津・浜通り地方では、気候が違います。

<中通り>

中通り地方は、日本海側と太平洋側の気候の中間の気候です。

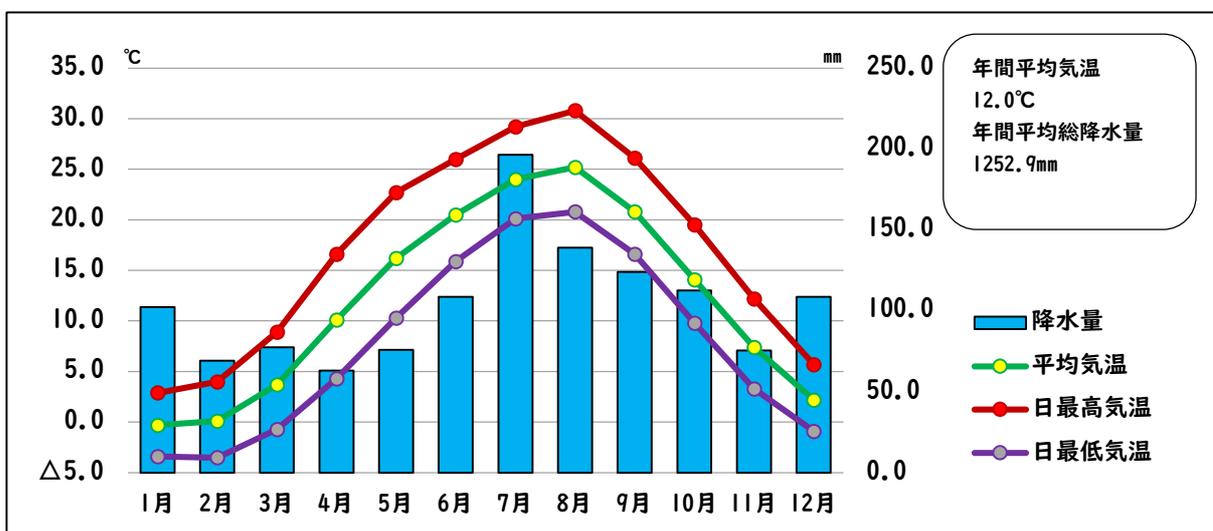
盆地では夏は蒸し暑く、冬は冷たい風が吹き雪も降ります。



<会津>

会津地方は、日本海側の気候で、夏は山地では涼しくなりますが盆地では蒸し暑くなります。

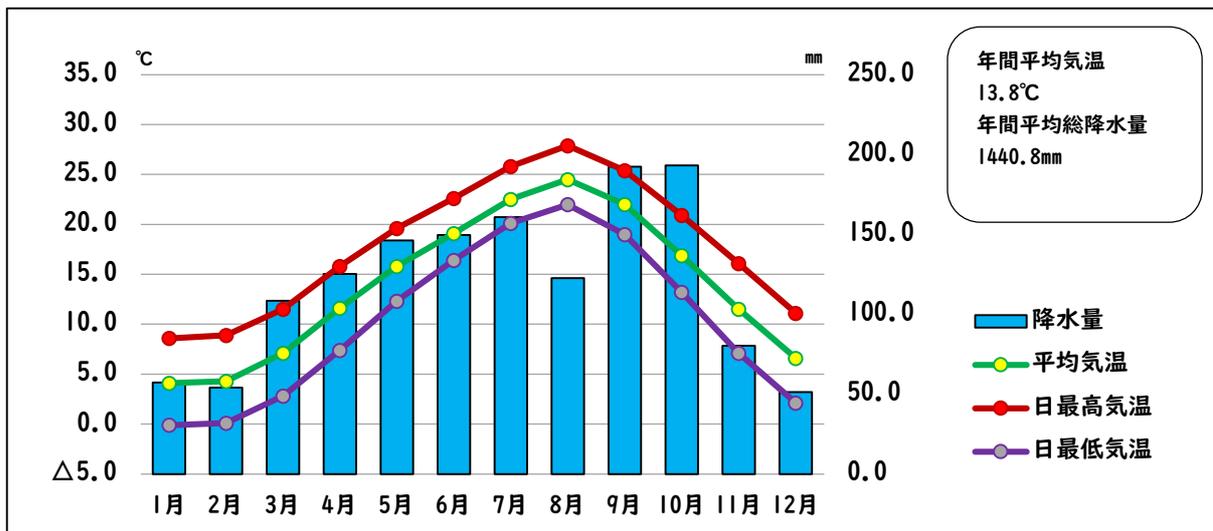
冬はたくさんの雪が降り、気温も低くなります。



<浜通り>

浜通り地方は、太平洋側の気候で、梅雨の時期と秋に雨が多く、夏はそれほど気温が上がりにません。

冬は県内で一番暖かく、雪もあまり降りません。



※データは平年値(1991年～2020年の平均値)を使っています。

資料出所：気象庁「気象データ」

県内では、各地域によって桜の花が咲き始める時期がちがいます。

浜通り地方では、4月上旬に桜の花が咲き始めます。



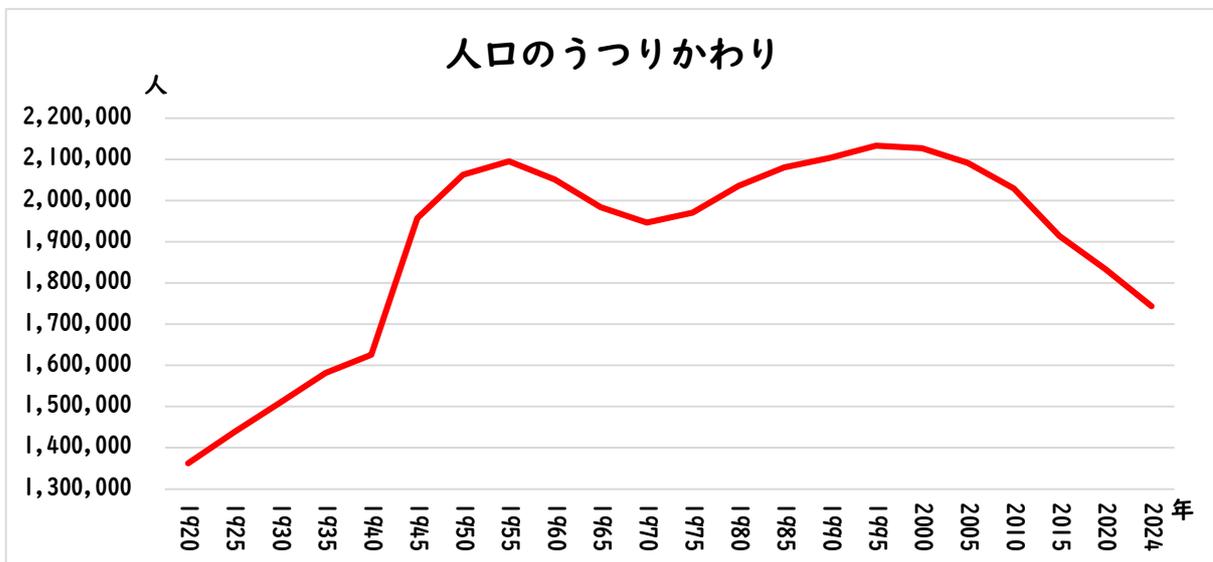
木の葉が赤や黄色に変わる紅葉の時期も各地域によってちがいます。

会津地方の尾瀬では、9月の中旬ごろに紅葉が始まります。



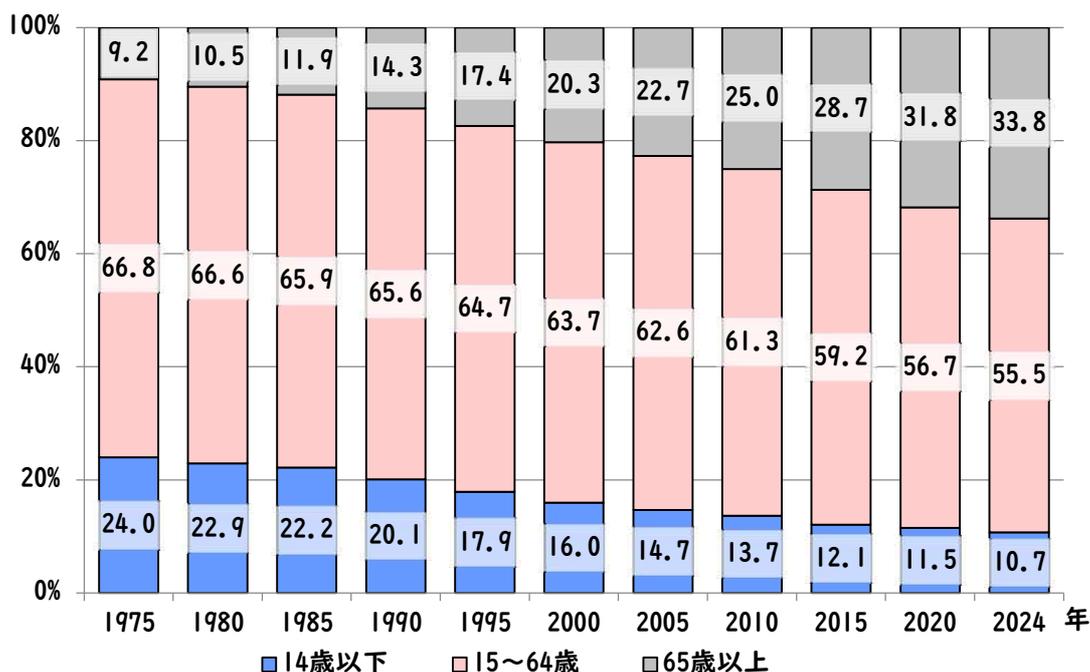
5 人口の様子

2024年（令和6年）10月1日の福島県の人口は、約174万人（男：約86万人、女：約88万人）です。



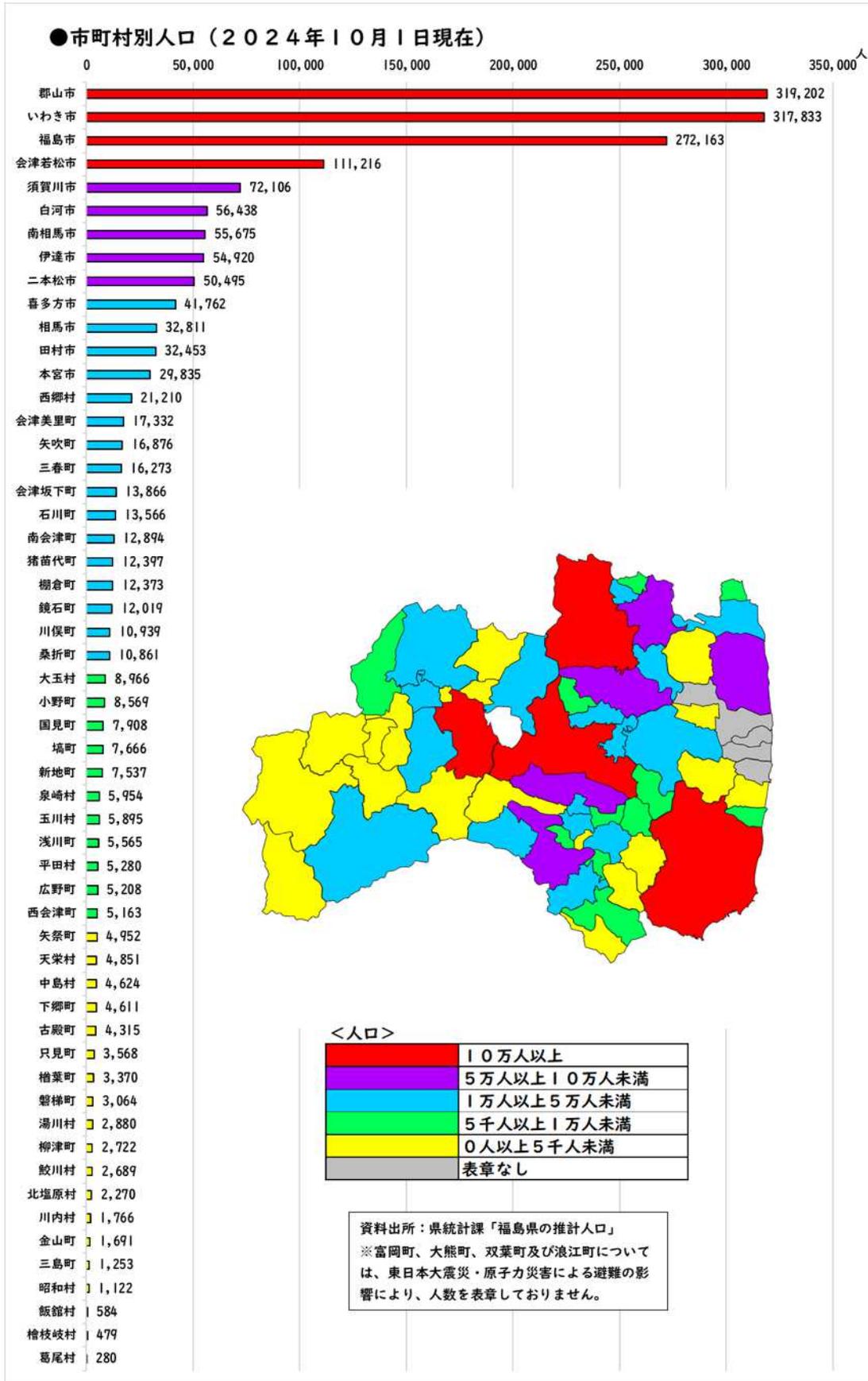
○年齢別人口の割合

福島県の人口の年齢別の割合をみると、65歳以上の人口の割合が、年々大きくなっています。逆に、14歳以下と15歳から64歳までの人口の割合は小さくなってきています。



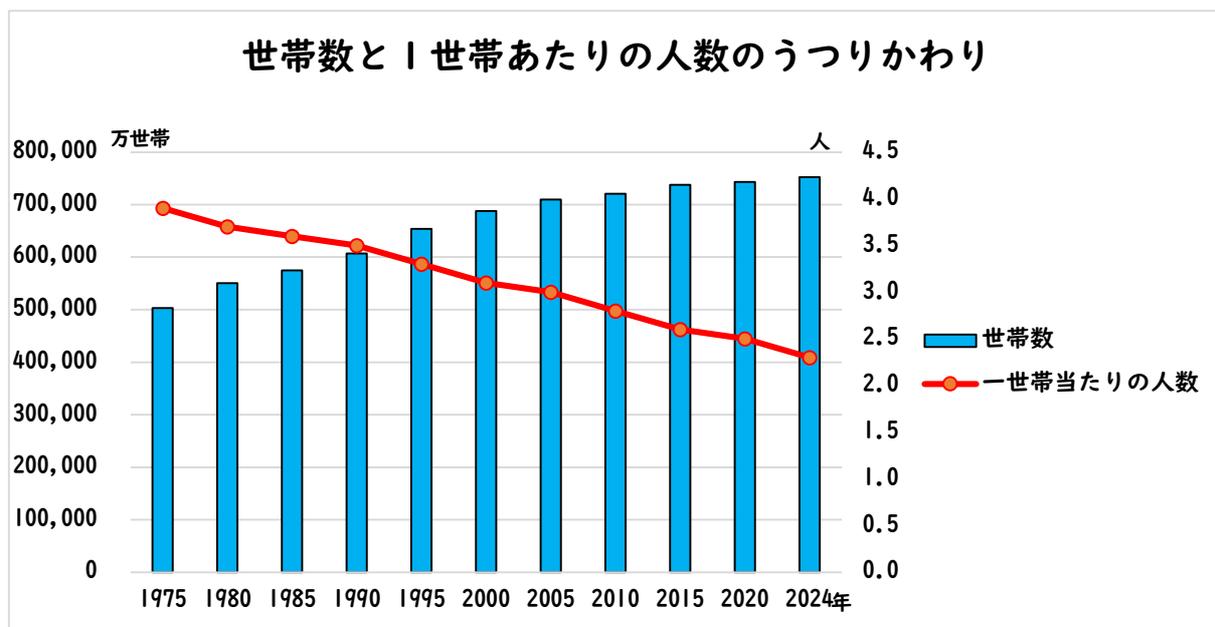
※2015年と2020年は不詳補完値により総数を用いて算出した数値。
資料出所：総務省「国勢調査報告書」、県統計課「福島県の推計人口」

県内では、郡山市の人口が一番多く、ついでいわき市、福島市、会津若松市という順番になっています。



福島県の世帯数は、年々増えていて、2024年（令和6年）10月1日では、約75万世帯が暮らしています。

しかし、1世帯あたりの人数は、年々減ってきていて、2.3人となっています。



資料出所：総務省「国勢調査報告書」、県統計課「福島県の推計人口」

コラム 国勢調査って何？

国勢調査とは、日本に住むすべての人を対象に5年に一度行われる大切な調査です。1920年から始まり、今年で105年目を迎えます。

「人口は何人いるのか」「どこに多く住んでいるのか」などを調べて、国や自治体の政策づくりに役立っています。

たとえば、人口が減っている地域では「学校を統合すべきか」、高齢者が増えている地域では「介護施設を増やすべきか」といった判断をするために国勢調査のデータが使われます。

企業も、どこに新しいお店を出すかを決めるときに活用しています。

また、災害対策にも重要です。人口や世帯の情報をもとに、避難所の数や支援の方法を計画します。

もし正確なデータがなければ、必要な支援が行き届かないかもしれません。

国勢調査は、私たちの暮らしをより良くするために欠かせないものです。

将来、みなさんが大人になったときには、ぜひ協力してくださいね！



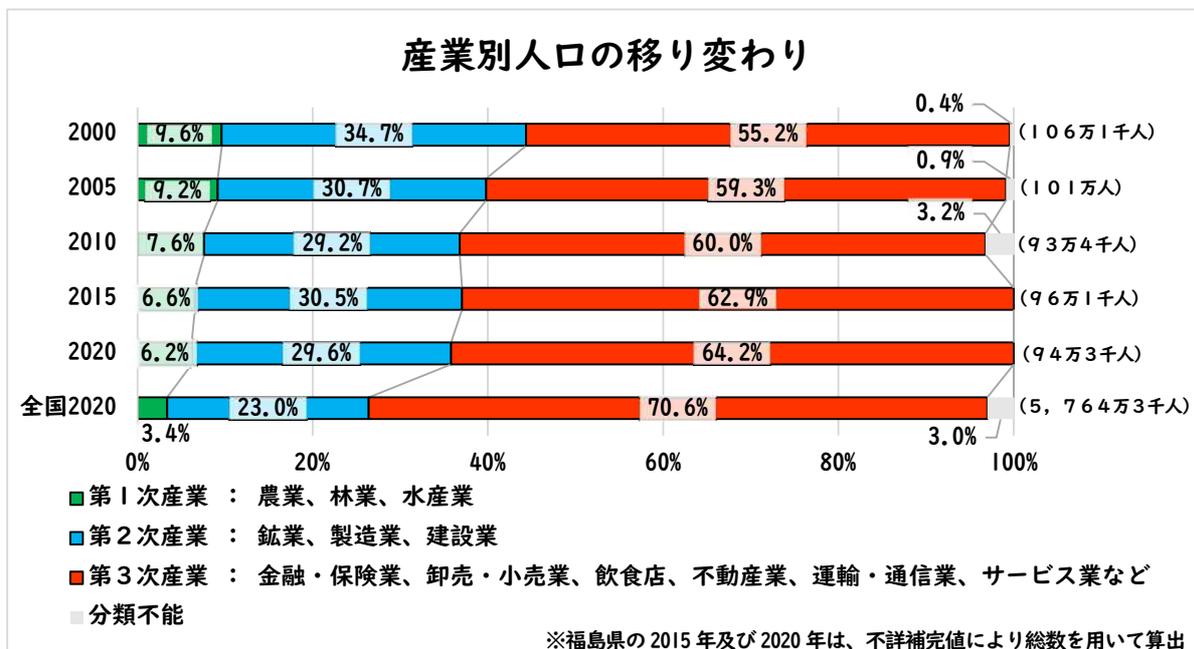
第2章 福島県の産業

1 産業の様子

福島県では、いろいろな産業がいとなまられています。

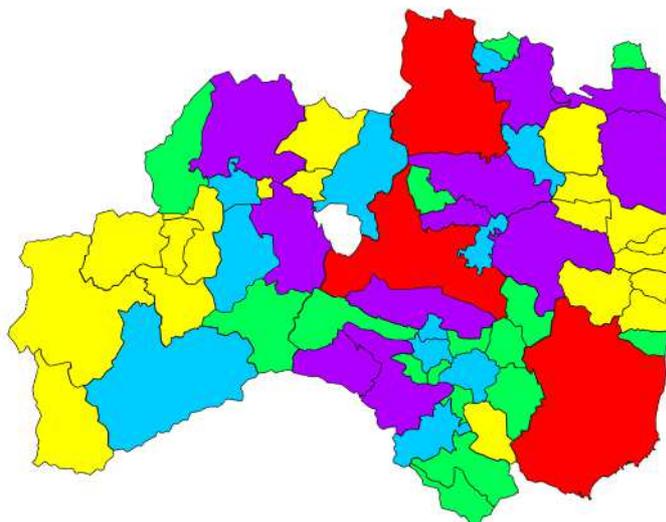
産業別人口でみると、サービス業などの第3次産業の占める割合が年々大きくなっています。

農業などの第1次産業の占める割合は年々小さくなっていますが、全国に比べると大きいです。



<働いている人の数>

	10万人以上
	1万人以上10万人未満
	5千人以上1万人未満
	2千5百人以上5千人未満
	0人以上2千5百人未満



資料出所：総務省統計局「国勢調査報告」

2 農業・林業・水産業



ふくしまイレブンは、福島県の多彩な農林水産物を代表する生産量が
全国上位の11品目です。

●ふくしまイレブンの収穫（生産、漁獲、出荷）量と全国順位

農林水産物	収穫(生産,漁獲,出荷)量	全国順位	年	1位の都道府県
米（水稲）	327,600 t	6位	2023年	新潟
もも	28,500 t	2位	2023年	山梨
日本なし	13,800 t	4位	2023年	千葉
きゅうり	39,200 t	4位	2023年	宮崎
トマト	21,000 t	8位	2023年	熊本
アスパラガス	1,430 t	9位	2022年	北海道
りんどう	3,470 千本	4位	2022年	岩手
肉用牛飼養頭数	50,300 頭	16位	2023年	北海道
地鶏				
会津地鶏(出荷数)	約40,000 羽	1位	2022年度	—
川俣シャモ(出荷数)	約33,000 羽	1位	2022年度	—
なめこ	1,725 t	4位	2022年	長野
ヒラメ	697 t	4位	2022年	北海道

●ふくしまイレブン以外の農林水産物の収穫（生産、漁獲、出荷）量と全国順位

農林水産物	収穫(生産,漁獲,出荷)量	全国順位	年	1位の都道府県
りんご	18,500 t	5位	2023年	青森
かき	8,270 t	8位	2023年	和歌山
ばれいしょ	15,300 t	6位	2023年	北海道
さやいんげん	3,260 t	2位	2022年	千葉
さやえんどう	1,060 t	3位	2022年	鹿児島
こんにゃくいも	29 t	5位	2023年	群馬
おたねにんじん	5 t	1位	2022年	(2位) 長野
トルコギキョウ	3,640 千本	6位	2022年	長野
宿根かすみそう	8,090 千本	3位	2022年	熊本
まゆ	6.6 t	3位	2023年	群馬
桐材	160 m ³	1位	2022年	(2位) 群馬
カレイ	811 t	7位	2022年	北海道
サンマ	1,593 t	4位	2022年	北海道
コイ養殖	646 t	2位	2022年	茨城

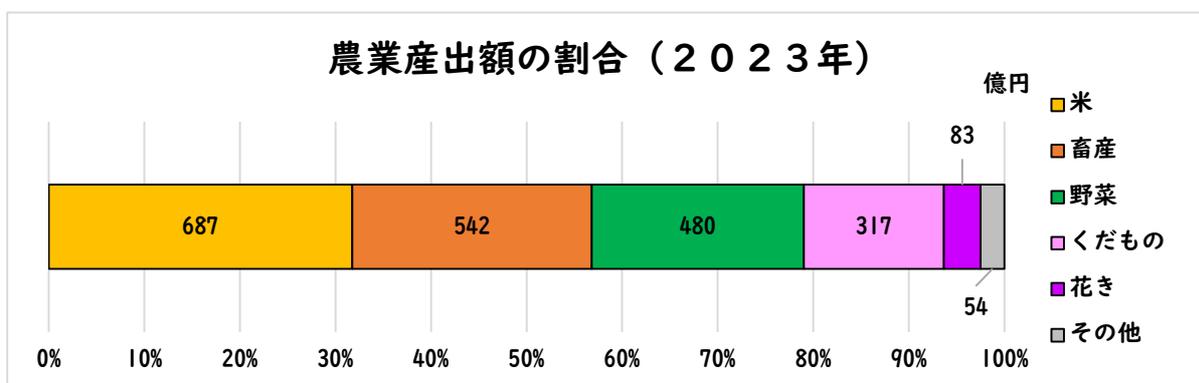
資料出所：福島県農林水産部「福島県農林水産業の現状」、
福島県畜産課「福島県の畜産2023」

（1）農業

福島県では、それぞれの地域の自然条件を生かしていろいろな農産物が生産されています。

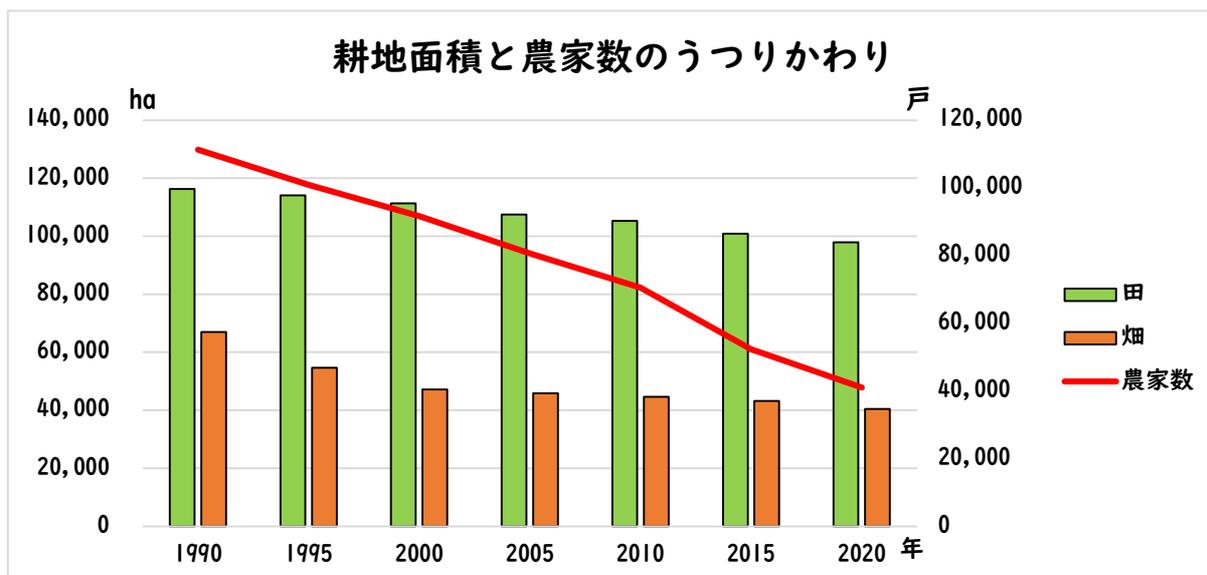
2023（令和5年）の農業の生産額は、約2,163億円で全国第16位となっています。

また、野菜やくだものなど全国的にみても生産量の多い農産物がたくさんあります。



資料出所：農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得統計」

福島県内の^{こうち}耕地面積は、田、畑とも年々減っており、販売農家の数も年々減っています。



資料出所：農林水産省「作物統計」、「農林業センサス」

<米>

福島県では、「コシヒカリ」や「天のつぶ」といった品種を中心に、約5万8,400ヘクタールの水田で^{いね}稲が生産されています。

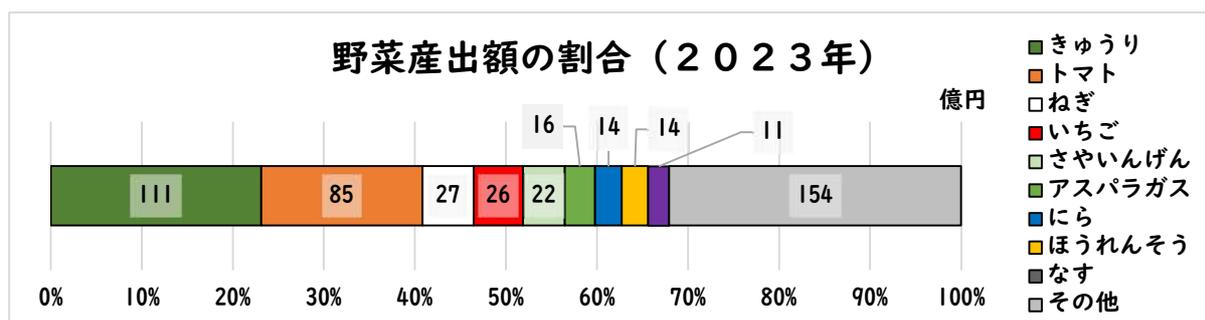
2023年（令和5年）に県内でつくられた米の量は、全国で6番目の約32万7,600トンで、福島県は主要な米の生産県となっています。

<野菜>

福島県では、たくさんの種類の野菜が生産されています。

特に、夏から秋にかけて生産されるきゅうりやトマト、さやいんげんは全国的にも有名です。

2023年（令和5年）の野菜産出額の合計は約480億円です。

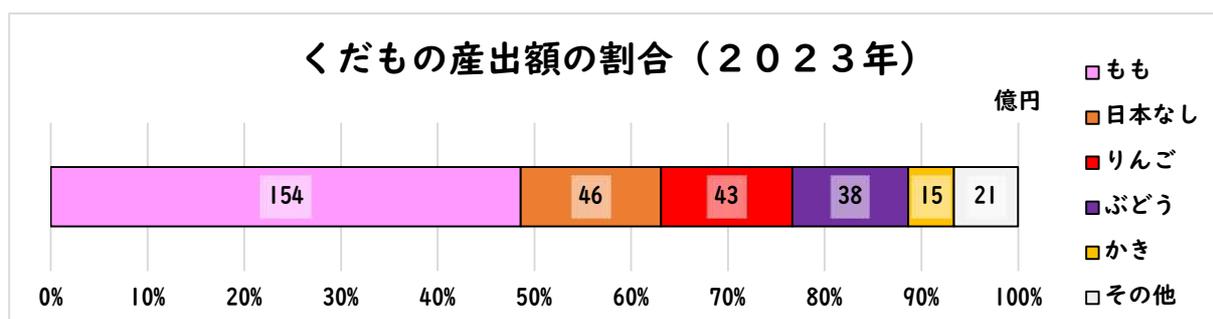


資料出所：東北農政局「令和5年農業産出額及び生産農業所得（東北）」

<くだもの>

福島盆地^{ぼんち}を中心に、もも、りんごなどが生産されています。特に、ももは「あかつき」などの品種が生産されており、収穫量は全国第2位です。

2023年（令和5年）のくだもの産出額の合計は約317億円です。



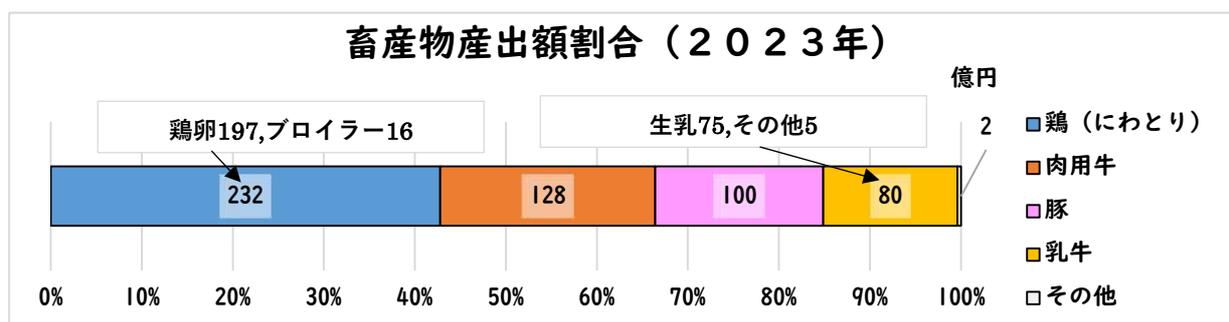
資料出所：東北農政局「令和5年農業産出額及び生産農業所得（東北）」

ちくさん
 <畜産>

中通りや浜通りを中心に、肉用牛や乳用牛、ぶた、^{にわとり}鶏などの家畜が飼われています。

畜産は、農業産出額の約25%を占め、安全でおいしい肉や卵、牛乳などを生産しています。

2023年（令和5年）の畜産物産出額の合計は約542億円です。

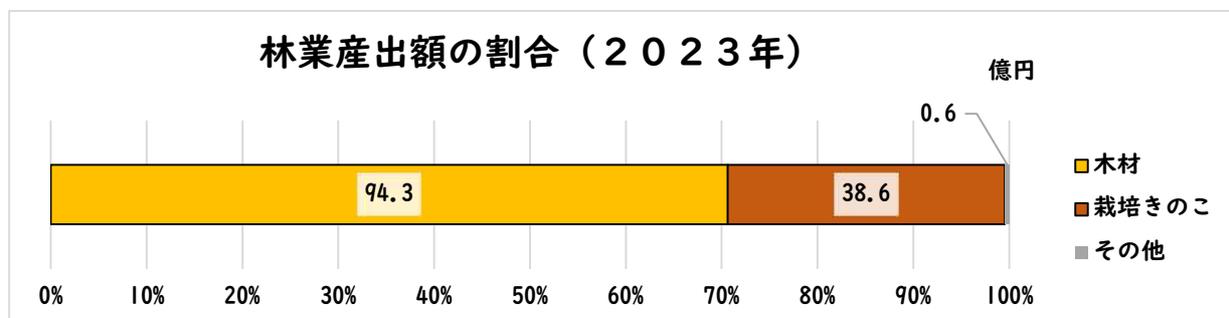


(2) 林業

福島県の森林の面積は約97万4,000ヘクタールで、県全体の約7割にあたり、全国で4番目の広さとなっています。この広い森林を利用して、木材やきのこが生産されています。

特に、なめこは、全国で第4位の生産量となっています。

2023年（令和5年）の林業産出額の合計は約134億円です。



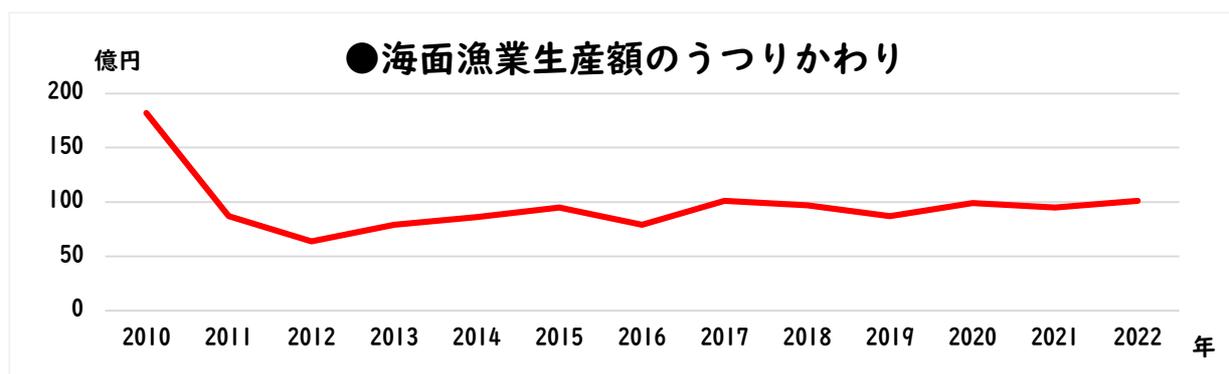
(3) 水産業

福島県の海は、南からの黒潮（日本海流）と北からの親潮（千島海流）がぶつかりあう潮目になっているため、良い漁場に恵まれています。

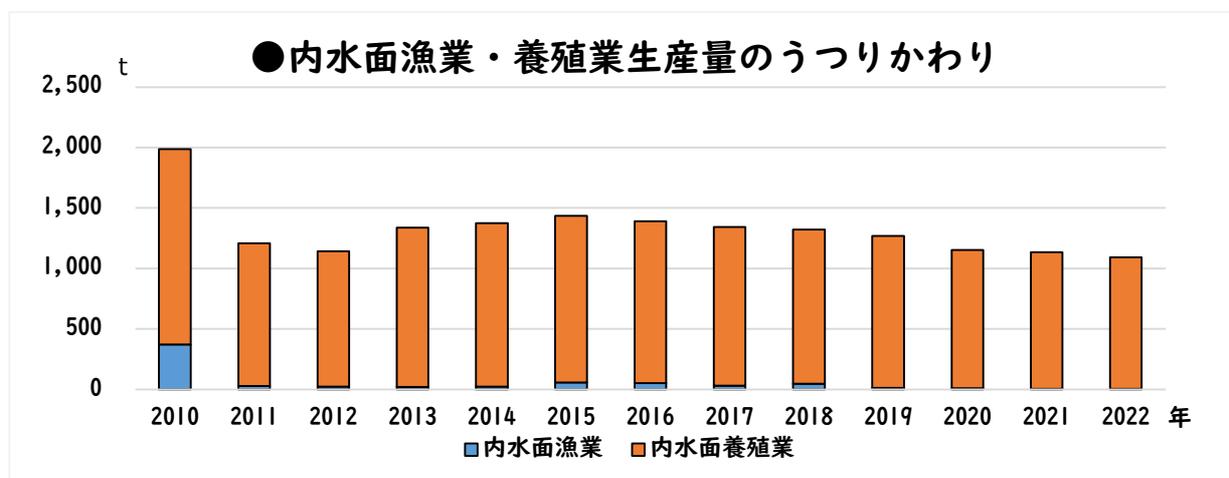
サンマやカツオなど多様な魚介類が水揚げされます。

2022年（令和4年）の海面漁業生産額は、101億円となっており、2011年（平成23年）に起きた東日本大震災と原子力災害の影響などで大幅に減少しています。

また、中通りのため池などではコイが、会津の山間部や阿武隈高地ではイワナやニジマスなどが養殖されていて、特にコイの養殖生産量は全国第2位（令和4年）となっています。



※試験操業による生産額を含む。
資料出所：県農林水産部「福島県農林水産業の現状」



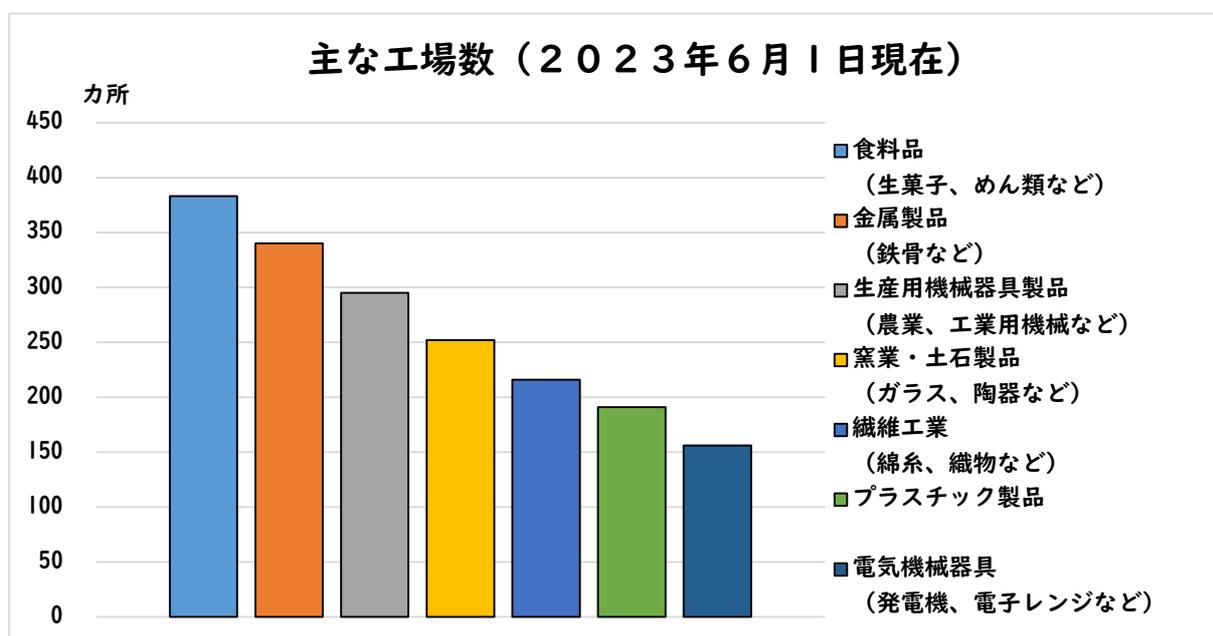
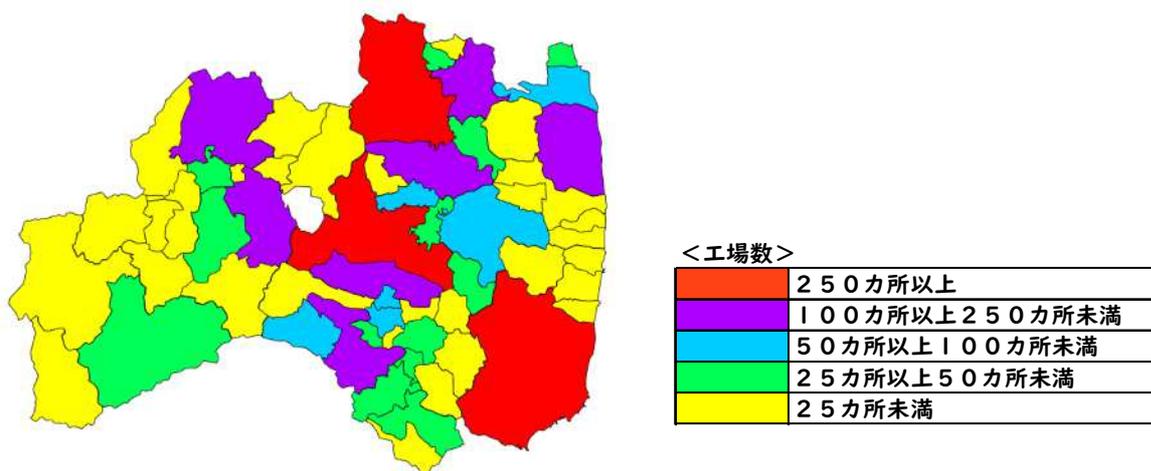
※内水面とは、主に河川や湖、沼、ため池などのことをいう。
資料出所：県農林水産部「福島県農林水産業の現状」

3 工業（^{せいぞうぎょう}製造業）

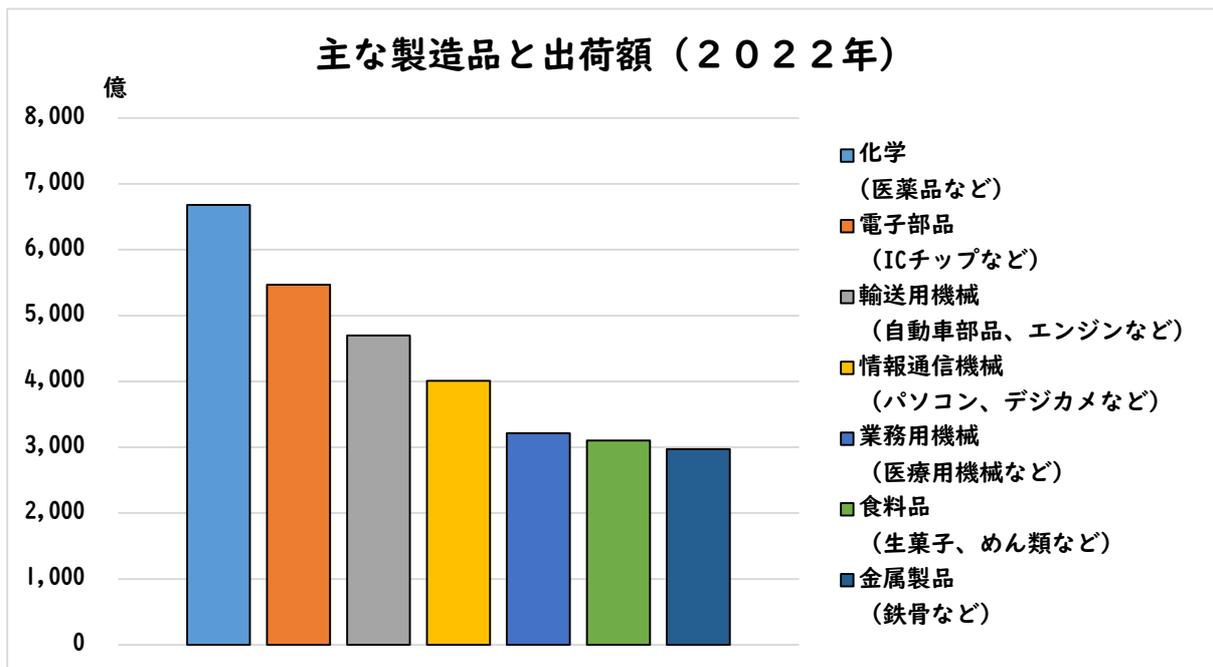
福島県では、いわき市や郡山市、福島市を中心に、各地でいろいろな製品がつくられています。

郡山市、会津若松市、南相馬市にあるハイテクプラザでは、県内の工場がより良い製品をつくれるよう、進んだ機器や設備を整えて、工業技術の研究などのお手伝いをしています。

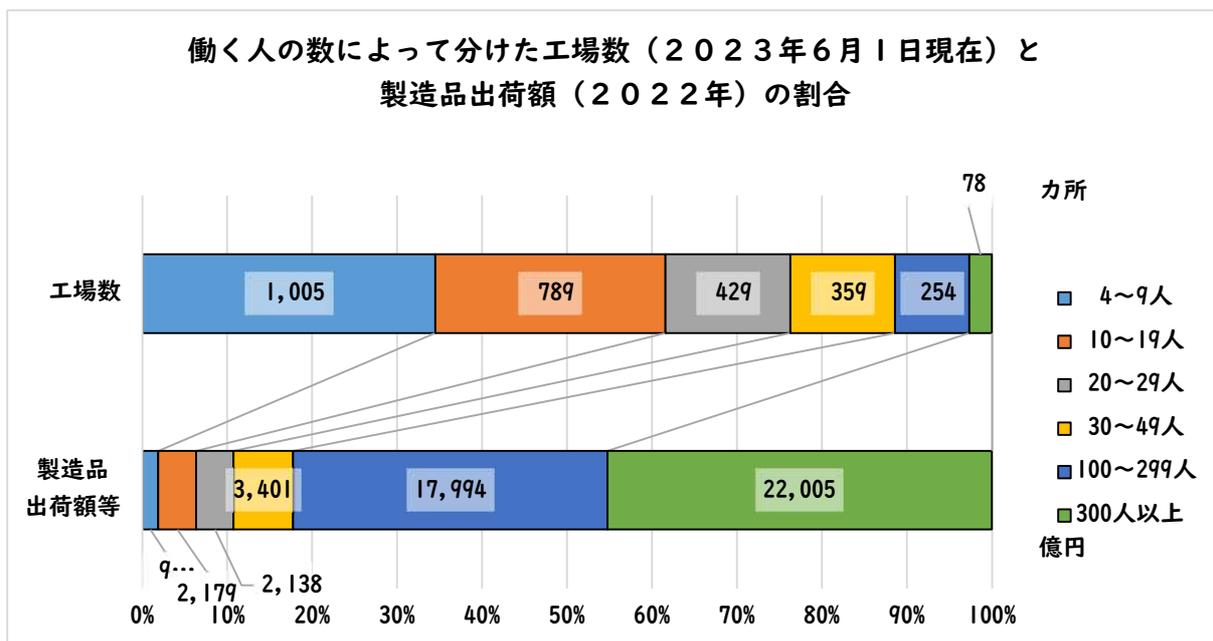
2023年（令和5年）6月1日現在の工場数は3,273カ所、
2022年（令和4年）の製造品出荷額^{しゅっかがく}は、約5兆4,610億円です。



資料出所：県統計課「令和4年福島県の工業」



資料出所：県統計課「令和4年福島県の工業」

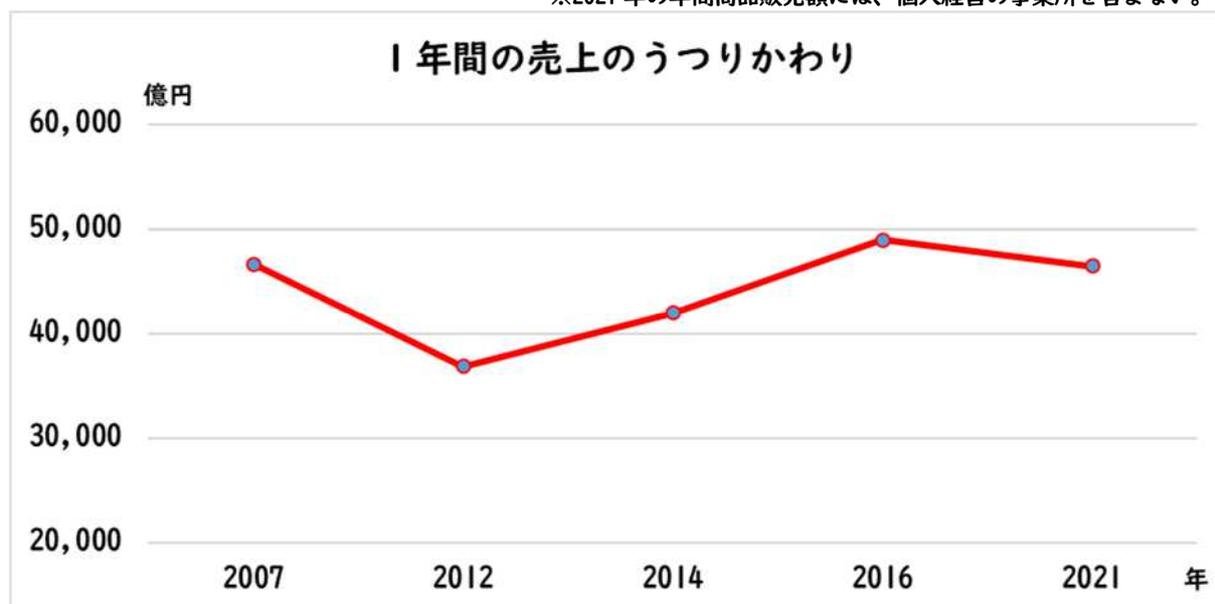
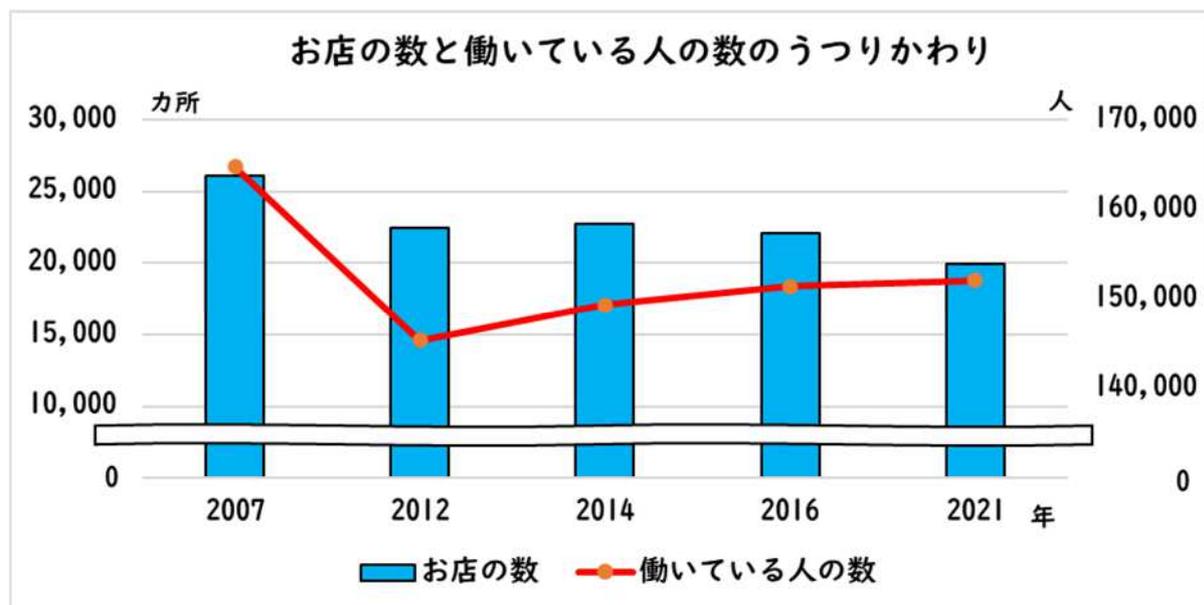


資料出所：県統計課「令和4年福島県の工業」

4 商業

2020年（令和2年）の年間商品販売額は、約4兆6,500億円で全国第20位となっています。

2021年（令和3年）には、県内に商店（小売店と卸売店）が約2万店あり、約15万2千人働いています。

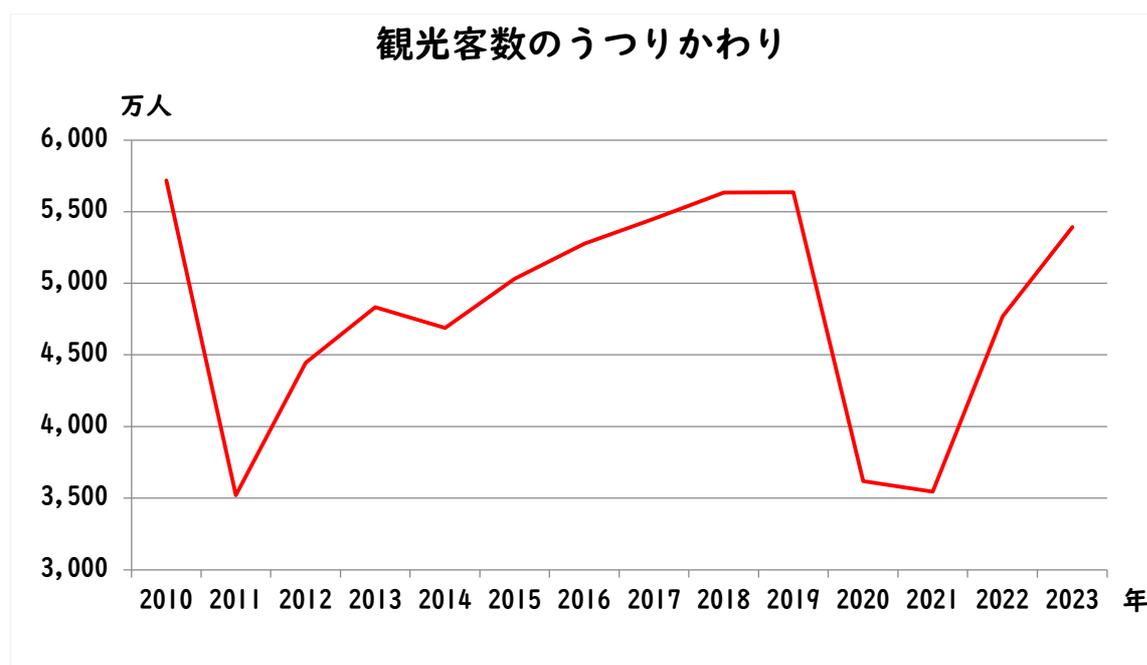


5 観光

福島県は、海・山・湖・川などの美しい自然に恵まれ、3つの国立公園と1つの国定公園、そして10の県立自然公園があります。また、多くの歴史的な名所、温泉、伝統的な祭りがあり、春は花、夏は登山、海・湖水浴、秋は紅葉、冬はスキーと、四季折々の風情を楽しめる全国でも指折りの観光県です。

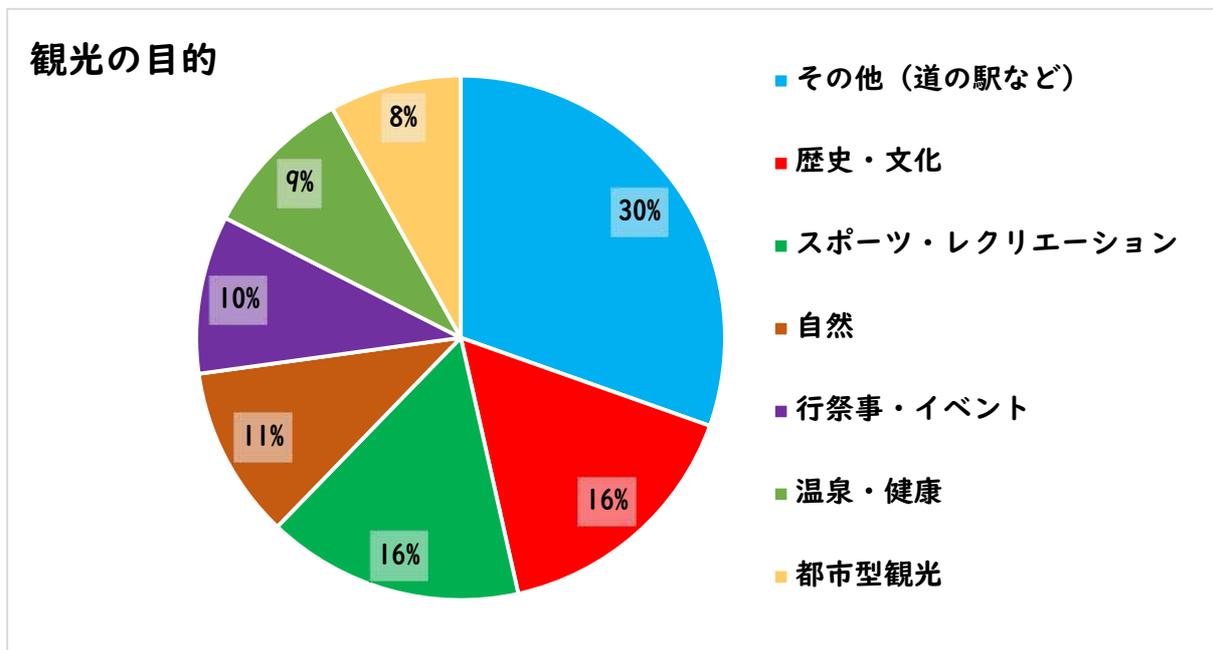
2023年（令和5年）の観光客数は、5,392万人となっています。東日本大震災により落ち込んだ観光客数は、年々、増加傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年（令和2年）に引き続き、2021年（令和3年）の観光客数も大幅に減少しました。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだことなどにより、2022年（令和4年）から2023年（令和5年）にかけて観光客数が回復してきています。



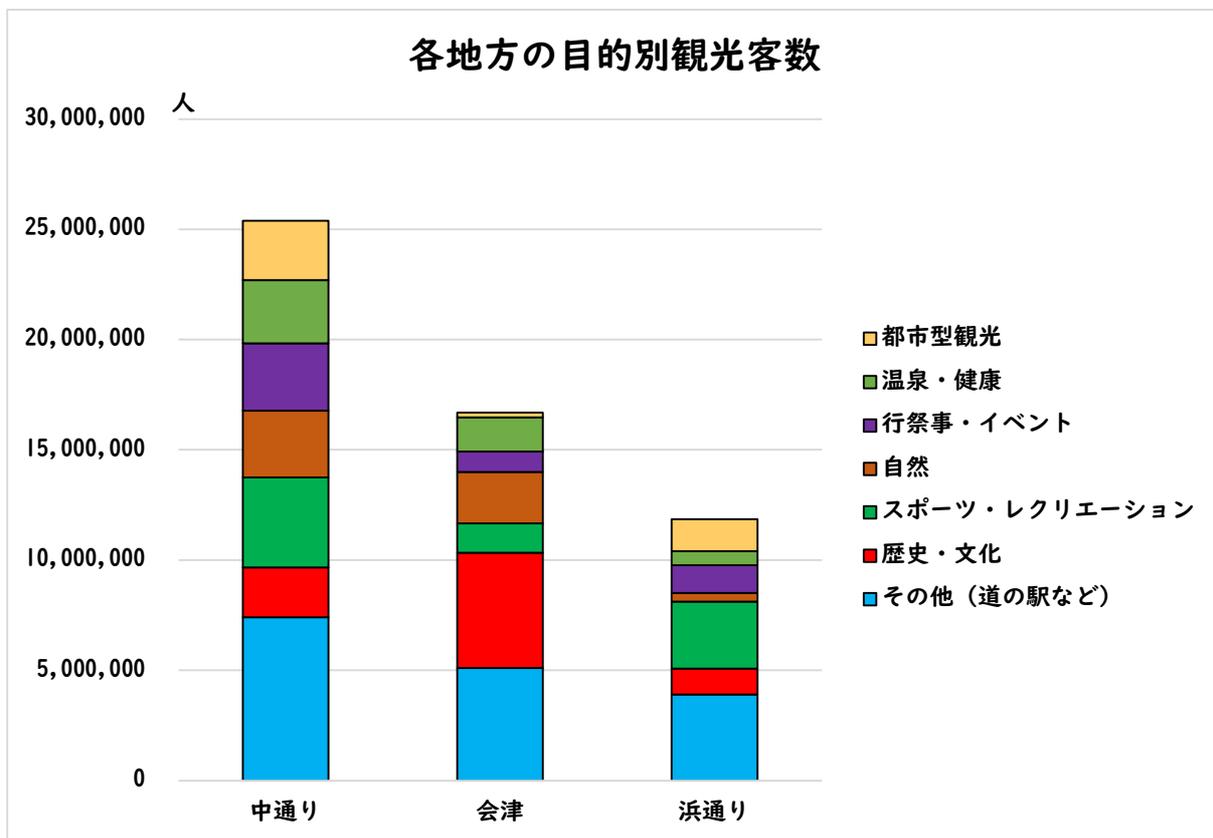
資料出所：県観光交流課「福島県観光客入込状況」

観光の目的では、道の駅を含む「その他」が約3割を占め、「歴史・文化」、
「スポーツ・レクリエーション」の順となっています。



資料出所：県観光交流課「福島県観光客入込状況令和5年分」

観光客数は中通りが47%、会津が31%、浜通りが22%となっています。



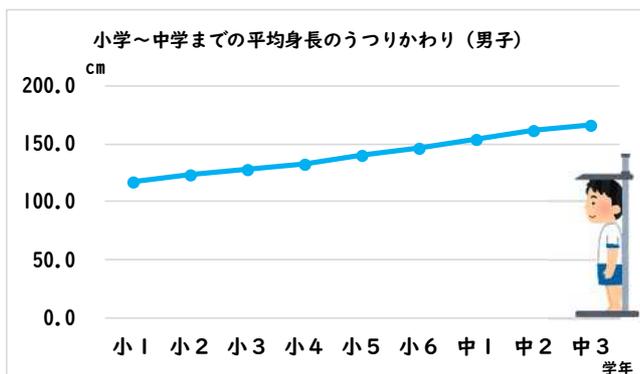
資料出所：県観光交流課「福島県観光客入込状況令和5年分」

コラム グラフの見方に気をつけよう!

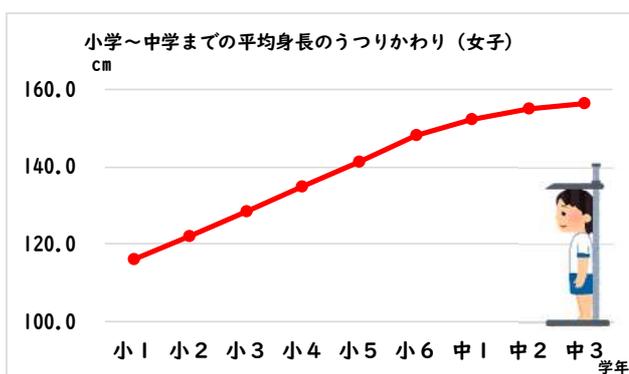
現代では、テレビや新聞、インターネット上で、グラフを使った記事などを見かける機会が増えています。下のグラフⅠ、Ⅱは、みなさんが学校で受けている身体測定の結果のうち、平均身長のうち、平均身長のうつりかわりを男女別に表したものです。

一見すると男子よりも女子の方が平均身長が高く、一年の伸びも大きく見えます。

グラフⅠ



グラフⅡ



しかし、グラフⅢのとおり男女を組み合わせると、実際には大差は無く、中学生になるとむしろ男子の方が高い事が分かります。

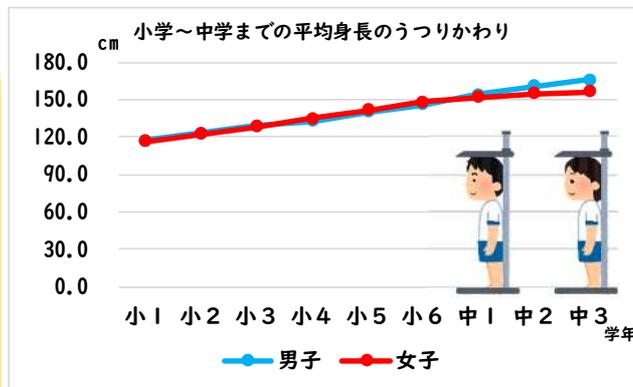
このようにグラフの見た目が変わる原因は、グラフの基準点と縦軸の目盛りにあります。

グラフⅠの基準点が「0.0」であることにに対し、グラフⅡは「100.0」となっています。

また、グラフⅠの縦軸は50.0cm幅で作られているのに対し、グラフⅡは20.0cm幅で作られています。

その結果、女子の方が平均身長も一年の伸びも大きいと勘違いしてしまうグラフができあがります。

グラフⅢ



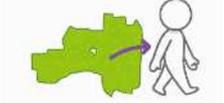
資料出所：県統計課「令和6年度学校保健統計調査」

このように、数値は変えずに目盛りの幅を変えることで相手に勘違いをさせるグラフを「詐欺グラフ」と呼びます。棒グラフに限らず、円グラフや折れ線グラフでも詐欺グラフを作ることばできてしまいます。

グラフでデータを見る時は、見た印象だけで判断せず、「どこか怪しい作り方をしていないかな？」と一度立ち止まって考えることが大切です。

第3章 福島県の暮らし

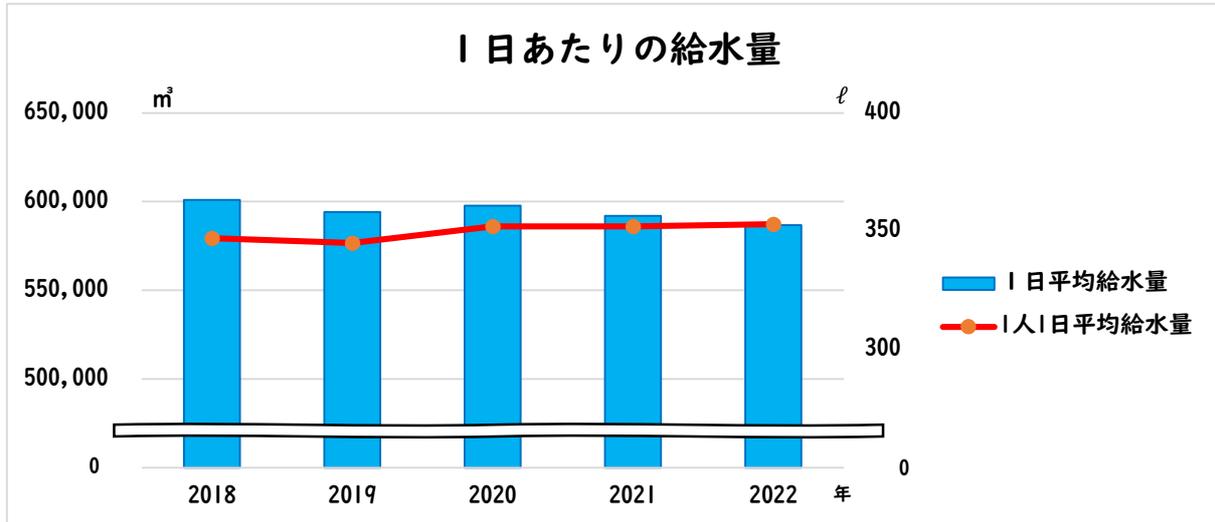
1 福島県の1日

<p>出生</p> <p>25人</p>  <p>(R5年) 資料：人口動態調査(厚生労働省)</p>	<p>死亡</p> <p>75人</p>  <p>(R5年) 資料：人口動態調査(厚生労働省)</p>	<p>結婚</p> <p>15組</p>  <p>(R5年) 資料：人口動態調査(厚生労働省)</p>
<p>離婚</p> <p>7組</p>  <p>(R5年) 資料：人口動態調査(厚生労働省)</p>	<p>転入</p> <p>78人</p>  <p>(R5年) 資料：福島県現住人口調査月報(県統計課)</p>	<p>転出</p> <p>91人</p>  <p>(R5年) 資料：福島県現住人口調査月報(県統計課)</p>
<p>交通事故発生</p> <p>8件</p>  <p>(R5年) 資料：福島県内の交通事故発生状況(県警察本部)</p>	<p>火災発生</p> <p>119番</p> <p>2件</p>  <p>(R5年) 資料：消防白書(総務省消防庁)</p>	<p>犯罪発生</p> <p>24件</p>  <p>(R6年) 資料：犯罪統計資料(警察庁)</p>
<p>米購入数量 (一世帯あたり)</p> <p>239g</p>  <p>(R5年 福島市 二人以上の世帯) 資料：家計調査(総務省)</p>	<p>ゴミ排出量</p> <p>1,876t</p>  <p>(R4年度) 資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査」</p>	<p>温泉施設利用者数</p> <p>13,833人</p>  <p>(R5年) 資料：観光客人込状況(県観光交流課)</p>
<p>路線バス利用者数</p> <p>41,340人</p>  <p>(R4年度) 資料：福島県統計年鑑(県統計課)</p>	<p>鉄道利用者数</p> <p>76,496人</p>  <p>(R4年度) 資料：福島県統計年鑑(県統計課)</p>	<p>福島空港利用者数</p> <p>627人</p>  <p>(R5年度) 資料：福島空港利用状況(県空港交流課)</p>

2 住みよいくらしをささえる

(1) くらしをささえる水

2022年度（令和4年度）の1日あたりの平均給水量は、586,742 m³で、1人1日あたりの平均給水量は353リットルです。



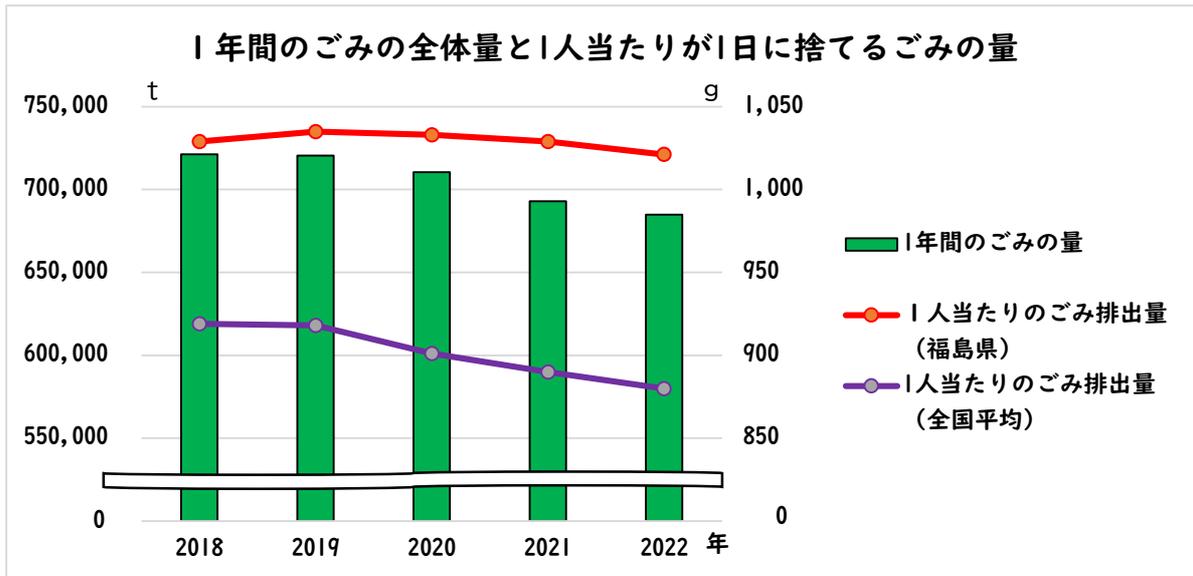
資料出所：県食品生活衛生課「福島県の水道」

(2) ごみと住みよいくらし

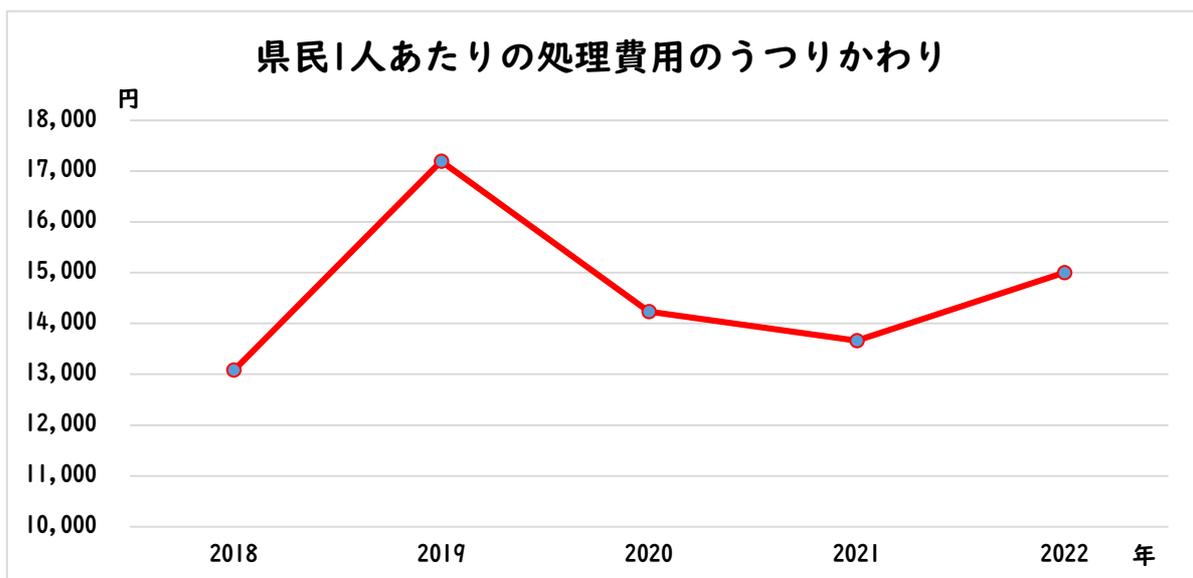
わたしたちの出すごみの量(排出量^{はいしゅつりょう})はとて多く、2022年度(令和4年度)では、県全体で約68万5千トンとなっています。

これを県民1人1日当たりのごみの排出量になおすと、2022年度(令和4年度)では1,021グラムとなっており、全国平均の880グラムと比べると、約140グラム多くなっています。

また、ごみを処理するために、毎年、たくさんのお金が使われています。集めたり、燃やしたり、埋め立てたりするのに、2022年度(令和4年度)では県民1人当たり年間約1万5,000円の費用がかかっています。



環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」



環境省「一般廃棄物処理実態調査結果」

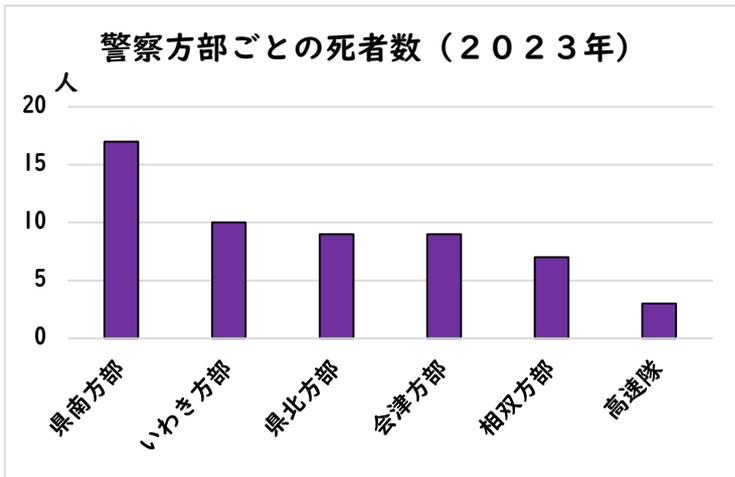
3 安全なくらしを守る

(1) 交通事故からくらしを守る

県内では、2023年（令和5年）に2,913件の交通事故が発生し、55人の命が失われました。

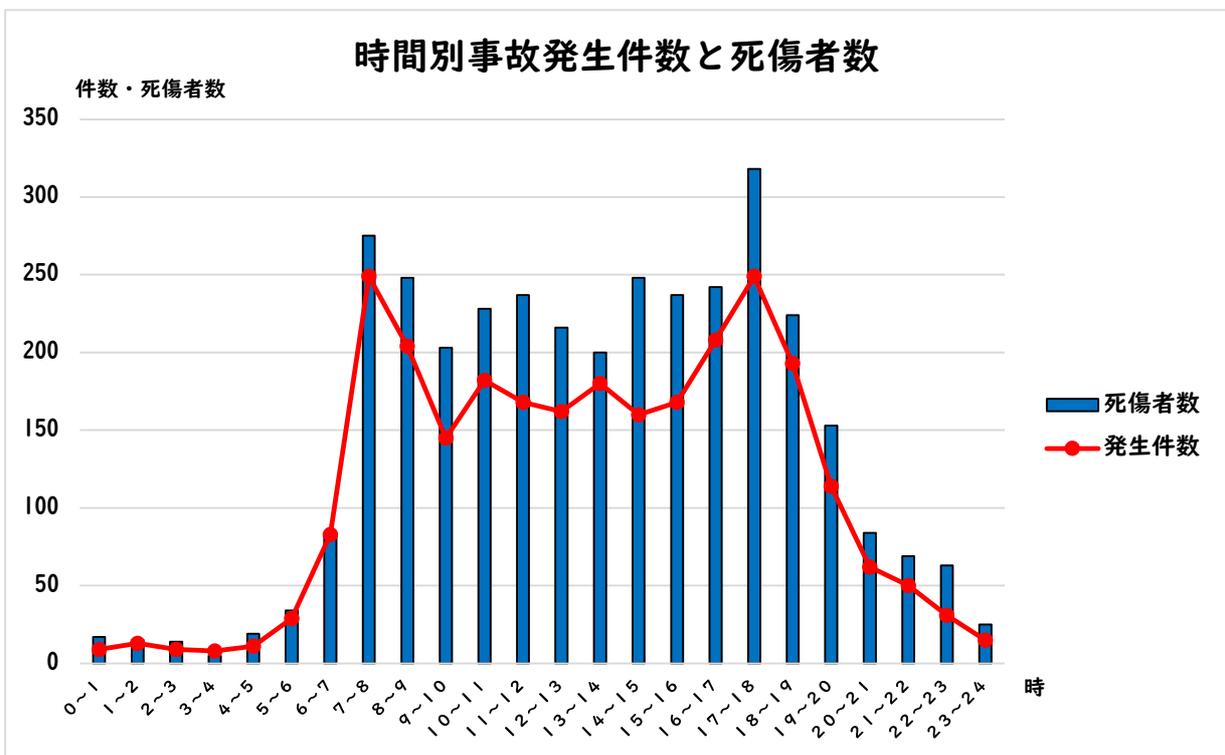
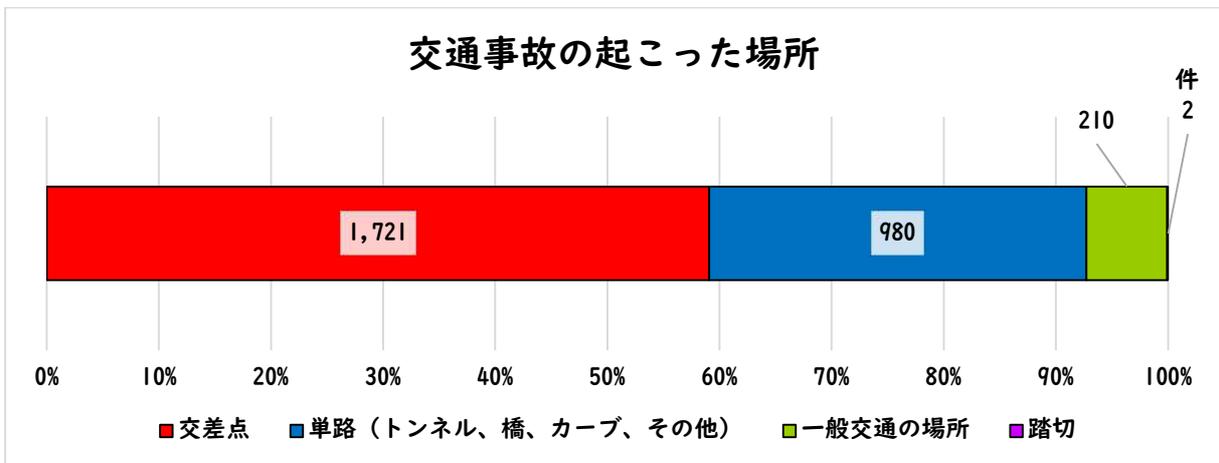
交通事故は、交差点やその付近でよく起き、通学や放課後の^{ほうかご}の時間に最もよく起きています。

交通安全教室などで学んだ交通ルールをみんなで守ることが大切です。



<方部ごとの警察署>

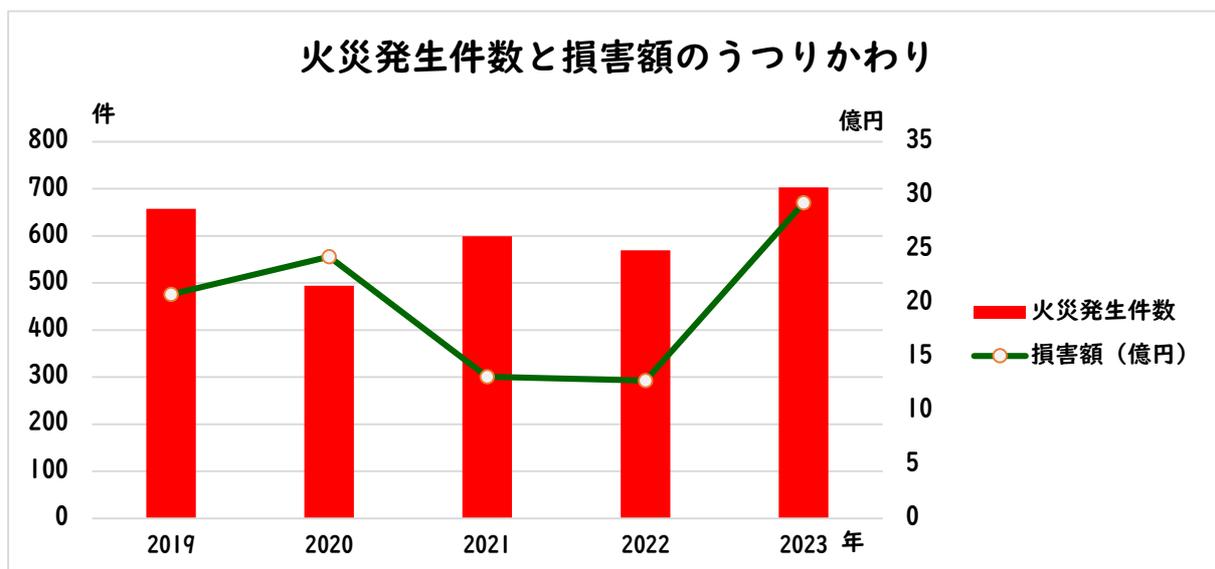
- 県北：福島、福島北、伊達、二本松
- 県南：郡山、郡山北、須賀川、白河、石川、棚倉、田村
- 会津：会津若松、猪苗代、喜多方、会津坂下、南会津
- いわき：いわき中央、いわき東、いわき南
- 相双：南相馬、双葉、相馬



（2）火災からくらしを守る

2023年(令和5年)には、703件の火災が発生し、その損害額は、^{そんがいがく}合わせて約29億円にもなっています。

また火災により、44人が死亡しています。



資料出所：総務省消防庁「火災の状況」

火災の原因は、放火・放火の^{うたが}疑い、たき火、火入れが上位を占めています。

火災が起きた時に十分な消火活動ができるよう福島市にある消防学校では、県内の消防署や消防団の人がさまざまな訓練を行っています。

火災のおもな原因（2023年）

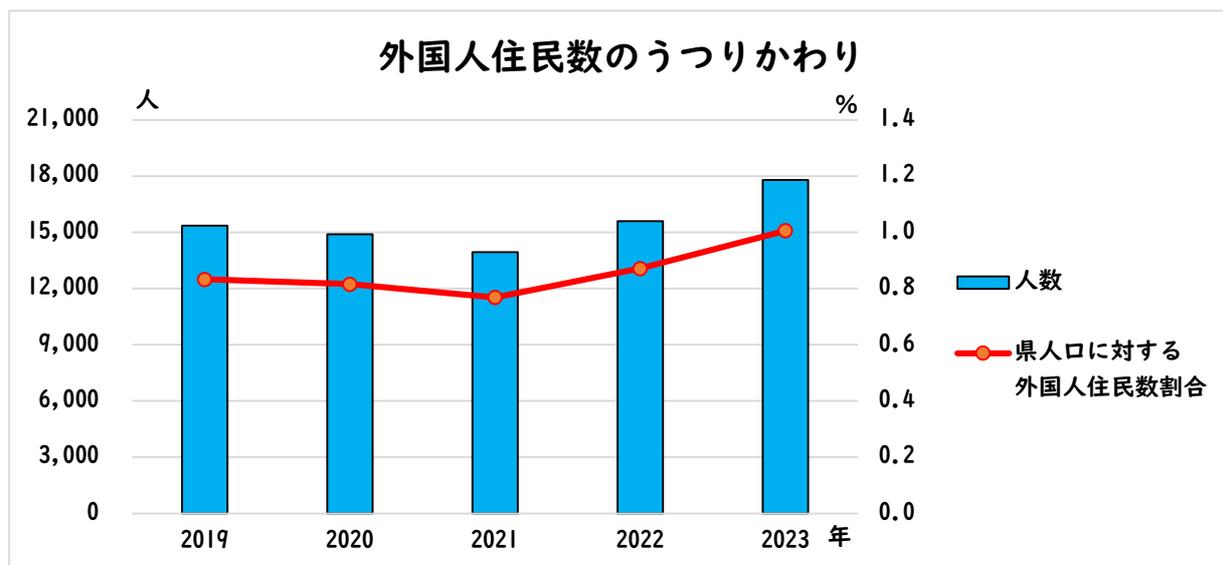
原因	件数
放火・放火の疑い	96
たき火	68
火入れ	52
たばこ	47
こんろ	30
電灯電話等の配線	29
電気機器	26
排気管	23
ストーブ	18
マッチ・ライター	14
その他	239
不明・調査中	61
合計	703

資料出所：総務省消防庁「火災の状況」

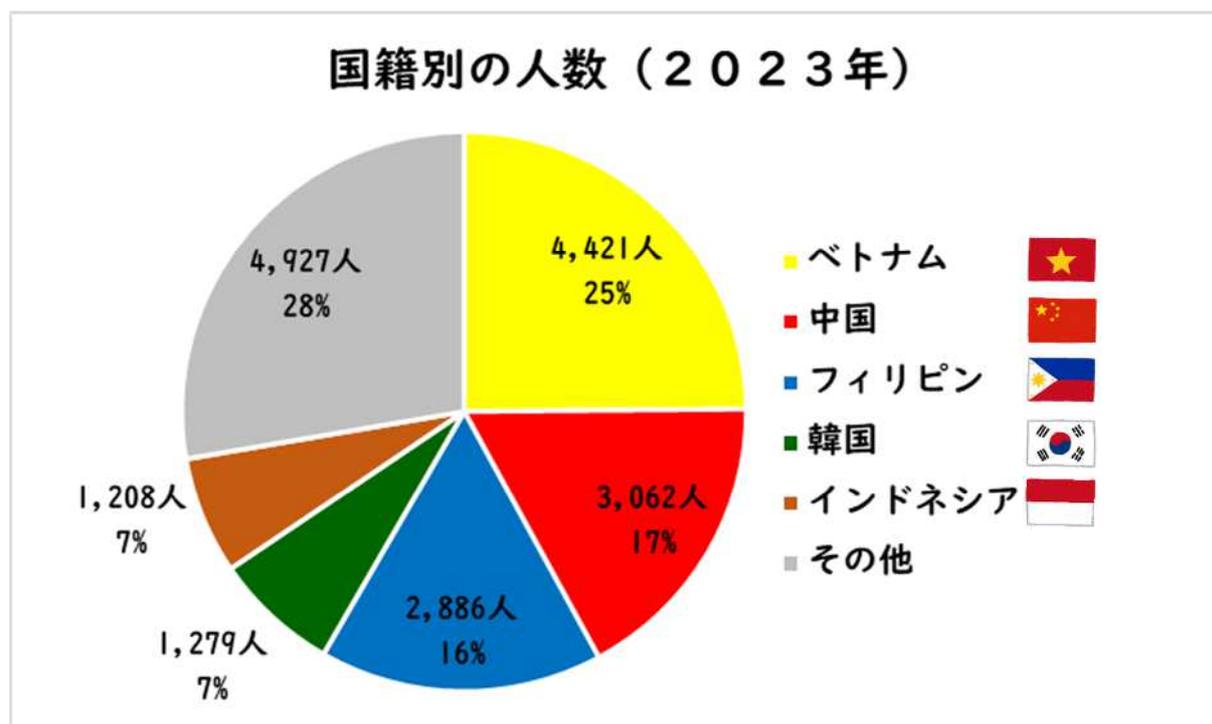
4 外国との交流

福島県には多くの外国の人が住んでいます。県内の大学で勉強したり、学校や工場で働くなど、いろいろな目的で福島県に来ています。

2023年（令和5年）の県内に住む外国人の数は、1万7,783人となり、初めて県人口に対する外国人住民の割合が1%を超えました。



資料出所：県国際課「福島県の国際化の現状」



資料出所：県国際課「福島県の国際化の現状」

ふくしまあれこれ全国ランキング

～ベスト3～

👑 No.1

<p>桃支出金額(1世帯当たり)</p> <p>6,629円</p>  <p>(資1)令和4～令和6年平均</p>	<p>納豆支出金額 (1世帯当たり)</p> <p>6,865円</p>  <p>(資1)令和4～令和6年平均</p>	<p>しめじ支出金額 (1世帯当たり)</p> <p>2,267円</p>  <p>(資1)令和4～令和6年平均</p>
<p>夏秋きゅうり収穫量</p> <p>32,500t</p>  <p>(資2)令和5年</p>	<p>つるむらさき収穫量</p> <p>271t</p>  <p>(資料3)令和4年</p>	<p>桐材生産量</p> <p>185m³</p>  <p>(資4)令和5年</p>
<p>医療用機械器具・ 同器具部品出荷額</p> <p>1,212億円</p>  <p>(資8)令和4年</p>	<p>測量機械器具の 部品出荷額</p> <p>51億円</p>  <p>(資8)令和4年</p>	<p>写真機・映画用機械の 部品出荷額</p> <p>69億円</p>  <p>(資8)令和4年</p>

👑 No.2

<p>馬肉生産量</p> <p>893t</p>  <p>(資5)令和4年</p>	<p>干し柿生産量</p> <p>792t</p>  <p>(資6)令和3年</p>	<p>こい（養殖）収穫量</p> <p>646t</p>  <p>(資7)令和4年</p>
<p>航空機用エンジン 部品出荷額</p> <p>1,953億円</p>  <p>(資8)令和4年</p>	<p>羽二重類（交織を含む） （広幅のもの）出荷額</p> <p>4億円</p>  <p>(資8)令和4年</p>	<p>漆器製台所・ 食卓用品出荷額</p> <p>17億円</p>  <p>(資8)令和4年</p>

👑 No.3

<p>アイスクリーム・ シャーベット支出金額 (1世帯当たり)</p> <p>13,474円</p>  <p>(資1)令和4～令和6年平均</p>	<p>まんじゅう支出金額 (1世帯当たり)</p> <p>1,718円</p>  <p>(資1)令和4～令和6年平均</p>	<p>宿根かすみそう 出荷量</p> <p>8,630千本</p>  <p>(資2)令和4年</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[資料出所]

- 総務省「家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング」、
- 農林水産省「作物統計」、3 農林水産省「地域特産野菜生産状況調査」、4 農林水産省「特用林産物生産統計調査」、5 農林水産省「畜産物流通調査」、6 農林水産省「特産果樹生産動態等調査」、
- 7 農林水産省「内水面漁業生産統計調査」、8 総務省・経済産業省「経済構造実態調査」

もっと統計のことを知りたいときは・・・

【小学生から知ってほしい！統計の話】

統計ってどんなものなのだろう、どういうことに使われているのだろう、などの疑問に対し、マンガやクイズを用いて説明する福島県のサイトです。



<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/kodomotoukei>

【なるほど統計学園】

統計に親しみを感じながら、統計を様々な角度から学ぶことができる^{そうむしょう}総務省のサイトです。



<https://www.stat.go.jp/naruhodo/index.html>

【キッズすたっと～探そう統計データ～】

自分の住んでいる地域や、授業に出てくるキーワードなどから統計データを探ることができる総務省の検索サイトです。



<https://dashboard.e-stat.go.jp/kids/>

【STEAM Library】

STEAMは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（人文社会・芸術・デザイン）、Mathematics（数学）の頭文字を取った言葉で、データ分析やSDGsに関する動画が無料でたくさん見られるサイトです。



<https://www.steam-library.go.jp>

はじまります！ 国勢調査

インターネット回答で
かんたん便利に！

調査期日
2025年
10月1日

日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です！

5年に一度、全員参加の統計調査



国勢調査 2025



国勢調査2025キャンペーンサイト

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索



総務省統計局・都道府県・市区町村